

第25回高知県オフセット・クレジット認証運営委員会

次 第

1 報告事項

- (1) 委員交代(委員長、副委員長の選任)について
- (2) 経過報告
- (3) 持続性確認結果・森林管理プロジェクトにおける特別措置について
- (4) 高知県版J-クレジット制度 変更・更新・高知県J-VERプログラム
認証更新について
- (5) 高知県版J-クレジット制度 制度文書の改定について

2 その他

- (1) 情報提供及び意見交換
- (2) クレジットの活用状況及び今後について

3 今後の予定

日時:平成31年2月4日(月)
13時30分～15時30分

場所:一般社団法人高知県山林協会 会議室

「第 24 回高知県オフセット・クレジット認証運営委員会」議事概要

日 時：平成 29 年 9 月 4 日(月) 13:30～16:00

場 所：一般社団法人 高知県山林協会 1F 会議室

出席者：小林紀之委員長（欠席）、酒井敦副委員長、仲尾強委員、粕谷泰洋委員、
松本美香委員

J-クレジット制度管理者 根岸華子（環境省 地球環境局 地球温暖化対策課
市場メカニズム室 主任）

J-クレジット制度事務局 中村悠一郎（みずほ情報総研株式会社）

事務局 三浦裕司、三好一樹、中川範之、中村哲史、長崎涼太、森田早紀
吉川聖真、森本祐平、河合弘子

議事

1 報告事項

（1）経過報告

（2）永続性確認結果について

（3）高知県版 J-クレジット制度 制度文書の改定について

（4）クレジットの補填義務について

2 その他

今後の予定等

議事概要

1 報告事項

（1）経過報告

1) 第 23 回高知県オフセット・クレジット認証運営委員会の議事概要

- ・ 3 月 22 日（水）13:00～15:00 に（一社）高知県山林協会 1F 会議室で開催。
- ・ 「高知県版 J-クレジット制度実施要綱 Ver. 3.0」を、国の制度文書改定に合わせ、プロジェクト認証対象期間の終了日を、平成 42 年度末(2030 年度末)を超えてないものとし、あわせて、個々のプロジェクト認証対象期間は最長 8 年間と改定したことを報告。
- ・ 「高知県版 J-クレジット制度実施規程（プロジェクト実施者向け）（Ver. 3.0）」は、①プロジェクト認証対象期間の延長について、②森林管理プロジェクトに係る特別措置について、③追加性評価の考え方についての改定であることを報告。
- ・ 「J-クレジット制度モニタリング・算定規程（排出削減プロジェクト用）（Ver. 2.6）」「方法論 EN-R-001「バイオマス固形燃料（木質バイオマス）による化石燃料又は系統電力の代替」（Ver. 1.3）」の改定について報告。
- ・ 高知県版 J-クレジット制度の更新申請は、平成 29 年 1 月 20 日付で J-クレジット制度管理者へ更新申請書を提出し、第 13 回の国制度運営委員会で更新が審議され、新潟県版 J-クレジット制度とともに、制度の更新が承認されたことを報告。

- ・「高知県オフセット・クレジット制度実施要綱（Ver.2.2）」は、高知県 J-VER の有効期限が平成 33 年 3 月 31 日までになっていたが、有効期限に関する記述が撤廃されたことを報告。
 - ・都道府県 J-VER プログラム更新申請書を平成 29 年 1 月 18 日に制度事務局へ提出し 2 月 7 日に更新が承認されたことを報告。
- 2) イベント出展状況の概要
- ・足立区地球環境フェア 2017 に参加し、環境貢献型商品の展示や紹介のほか、カーボン・オフセット関連チラシや環境貢献型商品チラシを配布し、制度普及に努めたことを報告。
- 3) 研修会の開催概要
- ・制度普及およびクレジット活用方法等について研修会を開催したことを報告。
- 4) 直近の高知県 J-VER の活用事例
- ・前回の委員会以降に無効化された高知県 J-VER の活用事例について報告。
- (2) 持続性確認結果について
- ・平成 29 年 6 月 30 日までに全てのプロジェクト事業者（12 事業者）から森林経営計画書、同計画認定書、伐採届け等の持続性確認に必要な資料が提出され、不備がなかったことを報告。
 - ・12 プロジェクトの森林状況について現地確認を行い、森林内に崩壊等の異常は認められなかったことを報告。
 - ・台風 5 号によるプロジェクト地の被害状況について現地調査を行い、森林内に崩壊等の異常は認められなかったことを報告。
- (3) 高知県版 J-クレジット制度 制度文書の改定について
- ・国制度の文書（実施要綱、実施規程（プロジェクト実施者向け）、モニタリング・算定規程（排出削減プロジェクト用、森林管理プロジェクト用）、方法論（EN-R-001、FO-001）（Ver 省略）改定に伴い、高知県版 J-クレジット制度 制度文書も改定したことを報告。
- (4) クレジットの補填義務について
- ・四万十町森林組合のプロジェクト実施地において、森林経営計画に基づく施業が実施し森林吸収量が消失されたことが報告され、消失量に相当するクレジットを無効化口座に移転することを報告。

2 その他

(1) 情報提供

- ・仲尾委員から気候変動を巡る、最近の動向について説明。
- ・粕谷委員からカーボン・オフセットにおけるマーケティング、消費者行動に関する最近の動向について説明。

(2) 今後の予定

- ・第 25 回委員会については 2～3 月頃に開催予定。

(2) 経過報告

◆イベント出展状況

平成30年 2月7日 ～9日	「第85回 東京インターナショナル・ギフト・ショー春2018」 会 場：東京ビッグサイト（全館） ※高知県ブースは東6ホール 来場者：173,334名（3日間合計）※主催者発表 内 容：環境施策・パネル展示・環境貢献型商品展示・アンケート調査
平成30年 4月28日	「ASAKURABOUSAI2018（高知大学で学ぼうさい2018）」 会 場：高知大学朝倉キャンパス 来場者：500名 内 容：環境施策・パネル展示・県内プロジェクトの紹介・環境貢献型防災商品展示。
平成30年 5月19日 ～20日	「地球環境フェア2018」 会 場：足立区役所本庁舎（中庭、区民ロビー、中央公園） ※高知県ブースは中庭 来場者：15,000名（2日間合計）※主催者発表 内 容：環境施策・パネル展示・高知県環境クイズ・県内プロジェクトの紹介・環境貢献型商品展示・手作りホバークラフト体験。
平成30年 12月6日 ～8日	「エコプロ2018」 会 場：東京ビッグサイト（東1～6ホール） ※高知県ブースは東2ホール 来場者：162,217名（3日間合計）※主催者発表 内 容：環境施策・パネル展示・環境貢献型商品展示

◆研修会の開催等

平成30年 5月9日	「平成30年度 市町村森林土木担当職員研修会」 会 場：高知商工会館 出席者：市町村森林土木担当者 26名 内 容：高知県の環境施策紹介
平成30年 5月29日	「高知県森林土木協会総会」 会 場：高知商工会館 出席者：高知県森林土木協会会員事業者 53社 内 容：クレジット活用の提案

◆直近（平成30年度）の活用事例

平成30年 4月13日	「高知龍馬マラソン2018(イベント)」のカーボン・オフセット（寄付） クレジット活用社：ニッポン高度紙工業株式会社（2回目） 活用クレジット：高知県安芸市五位ヶ森CO2吸収プロジェクト 100 t-CO2 （累計200 t-CO2）
平成30年 6月5日	「環境貢献型商品（2商品）」のカーボン・オフセット クレジット活用社：穴吹エンタープライズ株式会社（4回目） 活用クレジット：高知県大豊町ゆとりすとの森間伐推進プロジェクト 8 t-CO2 （累計16 t-CO2）
平成30年 6月7日	「ユニホームの製造工程で発生するCO2（一部）」をカーボン・オフセット クレジット活用社：東関工業株式会社（4回目） 活用クレジット：高知県津野町 龍馬の森間伐推進プロジェクト 3 t-CO2 （累計11 t-CO2）
平成30年 8月22日	「自己活動」のカーボン・オフセット クレジット活用社：株式会社ニューポート（4回目） 活用クレジット：高知県中土佐町四万十黒潮の森間伐推進プロジェクト 159 t-CO2 （累計388 t-CO2）
平成30年 11月1日	「クレジット付き木製名札」のカーボン・オフセット クレジット活用社：いの町（3回目） 活用クレジット：いの町温室効果ガス吸収間伐推進プロジェクト 12 t-CO2 （累計45 t-CO2）